

平成二十四年度 秋季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「秋」

期間 平成二十四年八月一日～平成二十四年十月末  
投句数 一、五一七句

特選三句

天

しばらくは木犀の香に坐禅組む

東京都墨田区 黒岡洋子

地

武士の声とも谷戸の鷓鴣鳴る

神奈川県座間市 鈴木幸子

人

鎌倉の秋声たづね谷戸歩く

東京都小金井市 石川明子

入選句

一般の部

源平の池は選ばず色鳥来

東京都武蔵野市

池田宏治

駅頭に立つ雲水の露けしや

神奈川県川崎市麻生区

市東晶子

禅寺の巖しき和む秋日かな

東京都杉並区

稲垣克巳

立秋の空青くして虚子の墓

福岡県福津市

今村尚敏

大仏邸曲がる路地裏虫時雨

神奈川県鎌倉市

大井章

入相の鐘渡りけり破れ蓮

東京都練馬区

勝田剛史

石佛は尼のかんばせ萩の風

神奈川県鎌倉市

川田昌子

鎌倉の路地裏秋の風の道

神奈川県横浜市港南区

佐々木義明

寺も奥半僧坊や烏瓜

神奈川県逗子市

佐藤信子

秋深しとどまる人に来る人に

香川県木田郡

島谷碩洲

義経の無念を運ぶ赤とんぼ

埼玉県草加市

中原靖之

潮の香がはや秋風に由比ヶ浜

神奈川県鎌倉市

服部みどり

擦り減りし石段蹬る曼珠沙華

千葉県松戸市

林 民江

新涼や富士玲瓏と際立ちて

神奈川県鎌倉市

兵藤寿恵

秋夕焼吸ひ込まれゆく地平線

千葉県船橋市

前原慶輔

逆縁の霊を送るや残る虫

神奈川県横浜市戸塚区

守安雄介

写経せし間に雨止みし秋彼岸

神奈川県横浜市旭区

柳沢栄蔵

源氏山今は昔や秋の月

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

虫の闇火と風舞ひぬ能舞台

東京都大田区

山田隆紀

風を呼び風を返して花芒

神奈川県鎌倉市

米山信夫

(順不同)

入選句

子どもの部

あきかぜとともにたのしむかんこうだ

埼玉県越谷市

浅香晴希

大仏の周りでトンボ遊んでる

埼玉県春日部市

荒井日菜子

星たちの光集めて天の川

埼玉県春日部市

齋藤如那

夏がすぎ仏様にも秋の風

栃木県大田原市

佐々木峻也

ながればしだいぶつさまのうえとおる

東京都大田区

澤口いりに

蜻蛉たち夕日に向かって飛んで行く

埼玉県春日部市

柴田萌

満月がみんなの家を照らしてる

埼玉県春日部市

谷田紗英

秋風を感じてみようじっとして

埼玉県越谷市

廣田茉梨絵

秋風をはだで感じる切り通し

千葉県勝浦市

吉野若菜

すすきの穂風にゆられて波のよう

東京都中野区

渡邊隆之

(順不同)